

5)

2005年10月号 NO26

ゆき(幸・小6)、基生(もとお・小6)、爺爺:武石雄市(68歳)

外人が圧倒的な世界選手権、日本選手も頑張った。ゆきと基生は、最年少の運営者として、また、併設大会の参加者としてオリエンテーリングの表裏を見た。

この大会で大活躍したスイスの人たちと話をした。夏休みの半分以上を三河高原に滞在した。確かに感じたことは、修業すると強くなる。



爺爺が泣いた

昭和の森でスプリント予選後

ゆき「爺爺、目が赤いけど？」

爺爺「うん、今、スプリントの予選が終わっただろう、日本の女子が2名も予選通過したんだよ」

ゆき「僕たち、今日は参加者だけど、太鼓の応援団とか大型スクリーンで走ってる選手が見れたり、みんな盛り上がってるね」

基生「あ、判った。爺爺は感激して目から汗が出たんだ」

ゆき「なにそれ？泣いてるってこと？」

爺爺「これが泣かずにいられるか！日本の女子選手全員が世界選手権のファイナリスとになったんだ。快挙だよ！快挙！」

ゆき「すごいんだね」

爺爺「そうだ、凄いんだよ。男子もミドルで2名、スプリントで1名決勝に進んだが女子は代表6名全員だよ。爺爺はうれしくてしょうがないんだよ。そして、苦しかった今までの練習と努力

のことを思うと『よかったね』と言ったとたん涙が止まらなかったんだよ」

ゆき「決勝に進むことは大変なんだね。爺爺良かったね」

併設大会 その1

8月7日、M12 出場

ゆき「ぼく、で失敗しちゃった」

爺爺「木村友佳がトップでゴールしたよ。基生君も幸がゴールして直ぐゴールしたよね」

基生「途中で幸を見つけたんだけど、ラストの前あたりで見えなくなったんだ」

ゆき「そう、僕がオーバーランして戻ってきたときモチーが4番に来てたもんね」

爺爺「基生君はオリエンテーリングは確か2回目だよ。友佳君のお父さん(佳司)が足が速いんだろうって言ってたけど？」

基生「僕、足は幸より遅いよ。オリエンテーリングは幸に誘われて、さくらんぼ大会が初めてだけど面白いね。地図を見て進むとポストがあるからうれしくなっちゃって、ラスボだけ尾根を回ってるうちに道路が見えてきて間違ったことに気が付いて登って行きました」

爺爺「基生君、ナビに素質があるから将来が楽しみだね。今日の成績は1位基生君2位友佳君、3位幸でした。おめでとう」



Day1 M12 1位の東野基生

参加国の国旗掲揚

幸と基生は6日、8日、9日、11日、14日の5日間は会場役員のセキユリティー部門の1員として働いた

爺爺「役員はみんな朝早く5時には出発する。朝ごはんは会場の準備の合間を見ておにぎりです」

ゆき「僕たちどんな役割なの？」

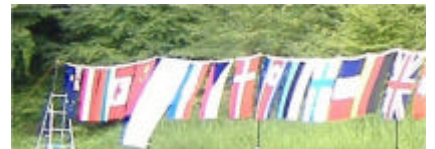
爺爺「朝、会場に到着したら参加している国の国旗を掲揚します。国旗を張る仕事は毎日爺爺の担当になったので毎日手伝うこと」

ゆき「爺爺、何枚張るの？」

爺爺「36カ国の参加で、それにIOFとJOAの旗をプラスして38枚になるね」

基生「大きさが違うものがあって苦労しそうだね」

爺爺「そう、国旗は大切に扱わなくてははいけません。地面を引きずったり粗末に扱おうと外交問題になるから、とても大事な役目です」





ゆき「1番は日本なの？スイスは何番目かな？」

爺爺「順番は向かって左からアルファベットの順番です」

基生「最後の旗はダサイね」

爺爺「モッチーもそう思うか、JOAも新体制になったし、この際、協会旗のデザインも検討する時期になったのかな。IOFのようにシンプルにしてももう少し大きいほうがかっこいいよね」

世界選手権の最年少役員

爺爺「今日はロングレース予選、君たちはばらばらに離れてそれぞれ重要な役割があります」

ゆき「僕は、ビジュアルコントロールで交通整理係だよ」

爺爺「そうです。あそこは3又路になっていて車も通るし、応援の人たちが大勢集まるところです。重要なことは選手を安全に通過させることだよ」



ゆき「わかった。モッチーは？」

爺爺「基生の役目は、昨日爺爺と芝さんが立っていた処でフィニッシュレーンを横断する人たちを監視する役目です。選手が走ってくるのが見えたなら早めにレーンをクローズすること。売店があるし、最終コントロールに出入りする人が多いから片時も気が抜けないところだから、基生君頑張ってね」

基生「うん、昨日、爺爺のを見ていたから大丈夫と思う」



ゆき「爺爺はどこにいるの？」

爺爺「VIPや特別なお客さんの席にそれ以外の人々が紛れ込まないように監視する役目だよ。それでは今日も暑くなるけど、役員ベストにIDカードを忘れないように。時々スポーツドリンクを飲んで熱中症予防だよ。それからみんなにあいさつをするんだよ。しっかりねー」

愛・地球博の会場で開会式

爺爺「選手輸送バスが遅れて予定通りでなかったようだが選手以外の外人もいっぱいだったし、まあまあだね」

ゆき「爺爺、昨日僕たちが話しかけられたスイスの人がいるよ」

爺爺「通訳のお姉さんがいるからご挨拶しようか」

爺爺「え！小野盛光さんのお嬢さんですか。孫たちがスイスから来たお客様とお話したと言っているのでご挨拶に来ました、通訳お願いします」

小野「はい、承知しました。この方たちはスイスのエース、マルク選手のご両親です」

爺爺「初めまして、私は幸の祖父です。ようこそ日本へ、お会いできてうれしいです」

ML「私はミッチェル・ローエンシュタインです。マルクが代表になったのを機会に夫婦で応援に来ました。お孫さんは可愛いですね」

爺爺「有難うございます。私は去る1月、スキー-Oのマスターズ大会でお国を訪問しました」

ML「何処で行われたのですか」

爺爺「エンガディンのス・チャンフです。孫にもスキーオリエンテリングを教えています」

ML「幸君それならスイスに来なさい。私の家を宿にしていなくてもスキーが出来ますよ」

爺爺「よく考えて見ます。インターネットメールでお返事しましょう。ところでマルクさんは明日走りますか？」

ML「マルクはロングとリレーに

予定しています」
ゆき「僕たち、役員だけど応援したいね」

ML「名刺代わりに僕の写真をあげるので応援してほしいね」

ゆき「はい、頑張ってください」

開会式からの帰路の会話

ゆき「爺爺、僕2時間トライアルで何km走ったっけ」

爺爺「爺爺が28.4kmだから、幸は27.7kmかな」

ゆき「今年は僕34kmを目標にするぞ！」

爺爺「？」「厳しい目標だが、頑張れよ。やってやれないことはない、やらぬは幸のやらぬなりけり」

ゆき「どこかで聞いた言葉だね、僕、がんばるぞー！！」

マルクはロングで堂々と2位になり、リレーの2走で逆転トップでタッチし、シモーネとともに会場にスイス旋風を巻き起こした

併設大会 その3

M12に出場している日本選手は毎日トップが入れ替わる。最後の2レースにはスウェーデンからの名前が見えるが、幸と基生は役員事情が逼迫して2レースとも役員をすることになったのでスウェーデンの子とは戦えない事となった。

ゆき「残念だけど、役員が不足しているようなので僕たち役員やるよ」

爺爺「ありがとう。外人とはオリエンテリングを続けている限り必ず戦う日がやってくるよ。そのときに向かって準備することだね」

ゆき「うん、昭和の森で1位の表彰もしてもらったし・・・」



木村友佳、渡辺 幸、東野基生